

# 大府市（愛知県）



愛知県西部、知多半島の付け根に位置する大府市。名古屋のベッドタウンとして発展し、少子化の時代にあって人口が上昇基調にある同市では、2019年に市議会における女性議員の割合が約42%となり、2023年も36.8%と4割弱を維持。同市には長年実施してきた男女共同参画に関する地道な取組があった。

## 先駆者たちの道：男女共同参画の35年

大府市の男女共同参画の歴史は約35年前に遡る。実際に男女共同参画社会基本法が施行された1999年からさらに10年も前。1989年に男女共同参画拠点施設である大府市石ヶ瀬会館「ミューいしがせ」が開館した。1995年には最初の「大府女性行動プラン（後の「おおぶ男女共同参画プラン」）」を策定し、2003年には「おおぶ男女共同参画推進条例」を策定する等、早くから男女共同参画に取り組んできた。なぜ、これほど早くから男女共同参画推進に取り組んでこられたのか。

きっかけはいわゆる男女雇用機会均等法だった。1985年に勤労婦人福祉法を改正した同法が成立、公布され、翌年4月に施行。これに応える形で大府市では、女性のための教育カリキュラムを策定し、女性活躍のための勉強会を開催。2009年、「ミューいしがせ」の指定管理者として、NPO法人ミューぱらん・おおぶに管理運営を委託することとなってからも、たゆまぬ努力が継続された。

大府市が一貫して目指してきた理念は、「性別による固定的な役割分担からの脱却」と「総ての人が性別に関わりなく個性と能力を発揮できる社会」の実現。そのために、男女共同参画に関する多様な講座を企画・実施し続けてきた。講座の数は年々増加し、2024年1月現在、年間90以上にも及ぶ。講座の数々はどれも人気が高く、多くに定員以上の応募がある。その中から政治

### お話を伺った皆様（敬称略）

\*肩書きはヒアリング当時

大府市議会事務局議事課議事係：

水野 朋美

野崎 雄介

大府市健康未来部子ども未来課

若者女性活躍係： 鈴木 桂子

大府市企画政策部企画広報課

企画政策係： 鈴木 康幸

大府市石ヶ瀬会館（ミューいしがせ）館長：

加納 和江

NPO法人ミューぱらん・おおぶ理事長：

田端 美知子

The screenshot shows the homepage of the Miye-i Shigase website for the 2024 year. It features a banner at the top with the text '無料講座' (Free Course) and '2024年度' (2024 Year). Below the banner, there's a section titled 'ミューいしがせ 講座案内' (Miye-i Shigase Course Information) with a sub-section '学び集う場' (A place where learning gathers). The page includes several small images showing people participating in various activities. To the right, there's a map of the city of Toyota and contact information: address #474-0035, phone number (0562) 48-0588, website <http://www.medias.ne.jp/misigase/>, and opening hours from April 2nd to May 15th. At the bottom, there's a QR code and a toolbar.

### ミューいしがせ 2024年度講座案内

出所：ミューいしがせウェブサイト

分野への女性の参画に一役買っているであろう、名物講座を紹介したい。

## 市政と市民の懸け橋：「市議会議員トークショー」の躍動

まず、ミューいしがせで提供している人気講座の1つ、「市議会議員トークショー」だ。市民に議員の存在を身近なものとして感じてもらうこと、またそこから議員になりたいと思う市民も出てくるのでは、という期待もあり、2014年から始められたものだ。きっかけは、ミューいしがせで、女性を対象とした生き方、暮らし方等の講義を1年かけて実施する「レディースカレッジ」という長期講座。その講座に興味を持った女性議員が同講座に市民と共に参加しており、そこから、女性議員と市民が触れ合う場を講座の形で提供してはどうか、という声が上がったことが始まりだった。そのため、第1回、第2回のトークショーは女性議員だけに講師として参加をお願いしていた。しかし、男性議員からも参加したいという声が次第に上るようになり、第3回以降からは、男女双方の議員に参加してもらっている。

基本的に選挙年を除く毎年1回、これまで計6回開催。初年度は56名、2021年の開催時には68名の住民が集まる等、参加者も増えてきている。特に近年は女性の参加が増えている。ミューいしがせ館長の加納氏によれば、多くの女性はロールモデルとなるような「働く女性」に興味があり、どういった女性が議員として活躍しているか知りたいという気持ちがあるのでは、とのことだ。

講座終了後に実施するアンケートでは、議員の声、議員の人となり、議場では見られない議員の生活が垣間見える等、反応は上々で、講座に満足したと回答する参加者は毎回95%を超える（出典：大府市提供アンケート集計結果）。講座は当初の狙いどおり、市民が市政に興味を持つきっかけとなっている。過去の講座参加者の中には、「自分にもできるのではないか」「こういう提言を自分もしてみたい」という意識を持つ者も現れ、議員へ立候補する者もいた。



市議会議員トークショーの様子

出所：NPO法人ミューーぷらん・おおぶ より提供

## 市民の声が未来を創る：「市長への提案講座」の成果

もう1つの講座は、「市長への提案講座」だ。こちらは歴史が長く、1997年から毎年2月に実施している。



市長への提案講座の様子

出所：NPO法人ミューーぷらん・おおぶ より提供

前述した「レディースカレッジ」と、同じくミューいしがせで実施している長期講座である「メンズカレッジ」、「子育てサロン」の3つの講座の全参加者が、講座の最後に学びの成果として、市長へ事業提案を行うものだ。同じ講座を受講していても、学んだこと、課題として認識していることは個々人で異なる。そのような中で、各グループで異なる意見を集約し、まちの発展のために具体的な提案を行うことの難しさはあるものの、これまでに同講座から多くの提案がなされており、実際に採用された施策も多い。ミューいしがせの託児

室、料理室、女性のための相談室の増築は、全て本講座での提案が市長に届いたことで実現した。

## 共に学び、共に成長：学びの力で変わるまち

「市議会議員トークショー」と「市長への提案講座」の予算は、トークショーは当日の司会進行を行うファシリテーターに支払う費用として約 2 万円、市長への提案講座は特にその講座単体で予算を要しているわけではない、というから驚きだ。議員も市長も、講座実施に積極的に参加を表明する等、協力的な姿勢を見せる。

講座成功の秘訣はこれだけにとどまらない。現在、各講座の内容を検討するに当たって、講座担当者と講座参加者で構成される企画運営委員会が設けられている。この委員会で月 1 回程度話し合いの機会を持ち、講座のアイデアや、講師の選定が行われる。その際、過去の講座アンケートの結果を活用するだけでなく、他市で実施した講座の情報収集や、県内の女性施設連絡会議で、どのような講座が成功したか、しなかったか、という情報交換を行うなど、多方面からの情報を基に講座の検討・改善が行われており、その企画から実施に至るプロセスは入念な PDCA に支えられている。

また、「学習」と「楽しさ」のバランスが取れた講座を継続して提供していくことで、市民のジェンダーへの理解や政治への参画に関する意識が高まっていくのではないか、と NPO 法人ミューぶらん・おおぶの理事長 田端氏は語る。「特に男性は女性に比べて地域参画の度合いが低く、隣人さえ知らない、という人も多い。地域の夏祭りへ参加し、みんなでコロッケづくりを行い、それをバザーで売ってみるなど、楽しい活動を学習と合わせて取り込んでいく。楽しくなければ続かない。

学習と楽しさのバランスの取れた講座を実施することで、学びの場が生き生きとすると同時に、学びながら自分たちの意識を高めていくことができる」と語る。実際、講座を始めたばかりの頃は、男性参加者から講師の発言に対して反発の声が上がる事もあり、講座内で言い争いが起きたこともあった。しかしながら、こうした楽しい学習を継続していくことで男性の男女共同参画への理解も深まり、次第に意識が変わってきたという。今では講座の企画に女性だけでなく、男性も積極的に参加している。

大府市は、今後も男女共同参画の推進を通じ、世代を超える愛される学びの場を提供し、市民が互いにつながり支え合うコミュニティを築くことを目指している。



左から  
NPO 法人ミューぶらん・おおぶ理事長 田端氏、  
大府市石ヶ瀬会館（ミューいしがせ）館長 加納氏  
大府市健康未来部子ども未来課 鈴木氏

## 女性議員増加の背景とは？？

このように男女共同参画に係る取組は長年実施してきたものの、政治への女性進出に関しては中々成果が出ず、2011 年まで女性議員の数が 3 名を超えることはなかった。潮目が変わったのは 2015 年。女性の新人議員 3 名が加わり、女性議員は 6 名（全体の 31.6%）、2019 年には 8 名（全体の 42.1%）とその比率を大きく伸ばした。しかし、その要因について、正直よく分からぬ、

と議会事務局 野崎氏は語る。



大府市議会事務局 野崎氏

とはいっても、決して議会事務局も手をこまねいていたわけではない。議員には、男女関係なく、子育てをしている者もいれば、介護をしている者もいる。そういう異なる背景を持つ一人一人が活躍できる場を整えること、それが大府市の議会事務局が力を尽くしてきたことであり、今後も力を入れたいと考えていることだ。野崎氏はこう語る。「議員の控室や1人1台 PC の貸与などのハード面の整備のほか、保育所入園のための就労証明書の発行など、議員一人一人の状況に合わせて、できる限りのサポートを実施している。今後も議員が仕事をしやすい環境を整えていきたい」—その言葉どおり、大府市の議会フロアには、議員各々が集中して作業できる環境や、会談スペース、図書室が整備される等、政策立案のために充実した環境が存在する。

大府市では、女性が2期3期と継続して活躍するケースが多いという。その理由は様々だろう。

大府市は保育所の待機児童数ゼロが続いている。行政以外にも公共の分野で活躍する NPO が多数存在し、財政的にも豊かだ。こうした背景や長年にわたって議会事務局が力を入れてきた環境整備が、議員の安定的な活躍を支えており、男女問わず、議員になってみよう、と思えるほどに、市議会議員という仕事の魅力を高めているのかもしれない。

また、関係者へのインタビューからは、先に見たような大府市で長年実施されてきた男女共同参画に関する地道な取組が、女性が活躍できる土壌や空気を育ててきたことも女性議員が増加した要因の 1 つではないかとも考えられる。意識改革が重要とはよく言われるが、意識の改革はにわかにできるような簡単なものではない。地道に継続してきた講座が意識改革の実を結んでいるのではないか。他の女性議員が増えている自治体の取組を見ても、早くから継続して取り組まれてきたという点は多くにおいて共通しているように思われる。小さな取組 1 つ 1 つを持続的に実施することが、政治への女性参画の後押しを進めていく。



会談スペースと図書室

# 市議会議員トークショー

- 取組主体：健康未来部 子ども未来課 若者女性活躍係(男女共同参画担当)
- 実施体制：大府市石ヶ瀬会館「ミューいしがせ」、NPO 法人ミューぷらん・おおぶ(指定管理者)
- 取組時期：2014年4月から現在
- 予 算：講師(ファシリテーター)料約2万円
- 成果・実績：計6回実施。参加者の中から議員になった女性も！

STEP 01  
課題発見  
どうやって  
気づいた？

## 市民と議員の距離を縮めることで新しい議員は誕生する！

- ・講座企画時に「議員をもっと身近に感じてほしい、そういうことから議員は誕生するのではないか」との意見が出され、「議員そのもの」に注目した講座の必要性を認識。

## 実施体制構築

- ・ミューいしがせで女性を対象とした生き方、暮らし方等の講義を1年かけて実施する「レディースカレッジ」にて女性議員に登壇してもらうはどうかとの提案があり、賛同獲得。
- ・市議会議長に講座の内容を説明し、登壇議員を推薦してもらい決定。

## 当日までの準備

- ・住民への広報として、ポスター掲示・講座案内・チラシ等で発信。
- ・当日の司会進行(ファシリテーター)役を、フリーアナウンサーに依頼。  
司会進行・段取りを講座前日までに打合せ。
- ・男女共同参画の観点を取り入れた質問を担当者が準備し、議員に共有。
- ・開講前日、「ミューいしがせ」にて会場設営・準備。

STEP 02  
検討・準備  
どうやって  
進めた？

## 当日の対応

- ・当日飛び入り参加も受け入れ。当日の追加質問は、受付不可。  
講座終了後、その場でアンケート実施。

STEP 03  
実施  
やってみよう！



## 実施したら、こんな成果が！

- ・初年度は56名参加。その後、毎回60名～70名程度が参加。95%以上の参加者から「概ね満足」以上の好評価。
- ・実施を重ねるごとに、参加者の意識が高くなり、「私もやれるのではないか」「こういう提言をしたい」という参加者が現れるようになる。
- ・議員が、ミューいしがせの活動に興味を持つようになり、ミューいしがせと議員のつながりが強化。議員の男女共同参画に対する意識にも変化が。

## 講座内容・形式は毎年見直す！

- ・毎年違う議員に参加を依頼。
- ・毎年テーマは変更。例えば、第1回目は働く女性として家庭と仕事の両立について、2回目は女性議員が多く誕生したこともあり、女性議員の活躍や思いを市民に伝える、ということをテーマに開催。
- ・第1回目、2回目は登壇者を女性議員のみとしていたが、第3回目以降より男性・女性議員を同数に。

STEP 04  
今後  
この先の展望は？

## 「市長への提案」講座

- 取組主体：健康未来部 子ども未来課 若者女性活躍係(男女共同参画担当)
- 実施体制：大府市石ヶ瀬会館「ミューいしがせ」、NPO 法人ミューぶらん・おおぶ(指定管理者)
- 取組時期：1997 年から現在。毎年 2 月頃に実施
- 予 算：なし
- 成果・実績：講座参加者からの提言には、実際に採用された施策も！

STEP 01  
課題発見  
どうやって  
気づいた？

### 市民のまちづくりへの関心を高める！

- 市民のまちづくりへの関心を高め、市政についての理解や意識を高めるために、市政と住民が繋がる場を設定してはどうかとの意見が出され、「市長への提案」として講座化を検討。

### 実施形式の検討

- 大府市長を囲んで男女共同参画の観点からまちづくりへの提案や質問を行うことを講座の一部として考えた。当時の市長も、子育て世代等の意見を直接聞く機会などが少なかったため、企画・方法としても良いのでは、と前向き。  
現市長も、現場の声を聴きたい、というスタンスのため、本講座に対して前向きな対応。

### 参加者の検討

- 講座内で行われる提案や質問が、男女共同参画社会の実現に資するものとなるよう、男女共同参画について学びを深めた市民が、その学びを基に市長へ提案を行う形式とすることに。具体的には、「ミューいしがせ」で実施している長期講座「レディースカレッジ」、「メンズカレッジ」、「子育てサロン」の講座参加者を対象に。

STEP 02  
検討・準備  
どうやって  
進めた？

STEP 03  
実施  
やってみよう！

### 参加者はグループ内で事前に提案事項を検討

- 3 つの講座の参加者が、それぞれの講座の学びの中から講座ごとにグループで話し合いを行い、市長への報告や提案を決定。

### 市長へ提案！

- 各講座最終回に合同で市長への提案講座へ参加する。3 つの講座の参加者全員が対象で、毎回 50 名程度の参加。市長からのお話の後、グループごとに具体的な提言。実際に施策に結びつく提案多数！

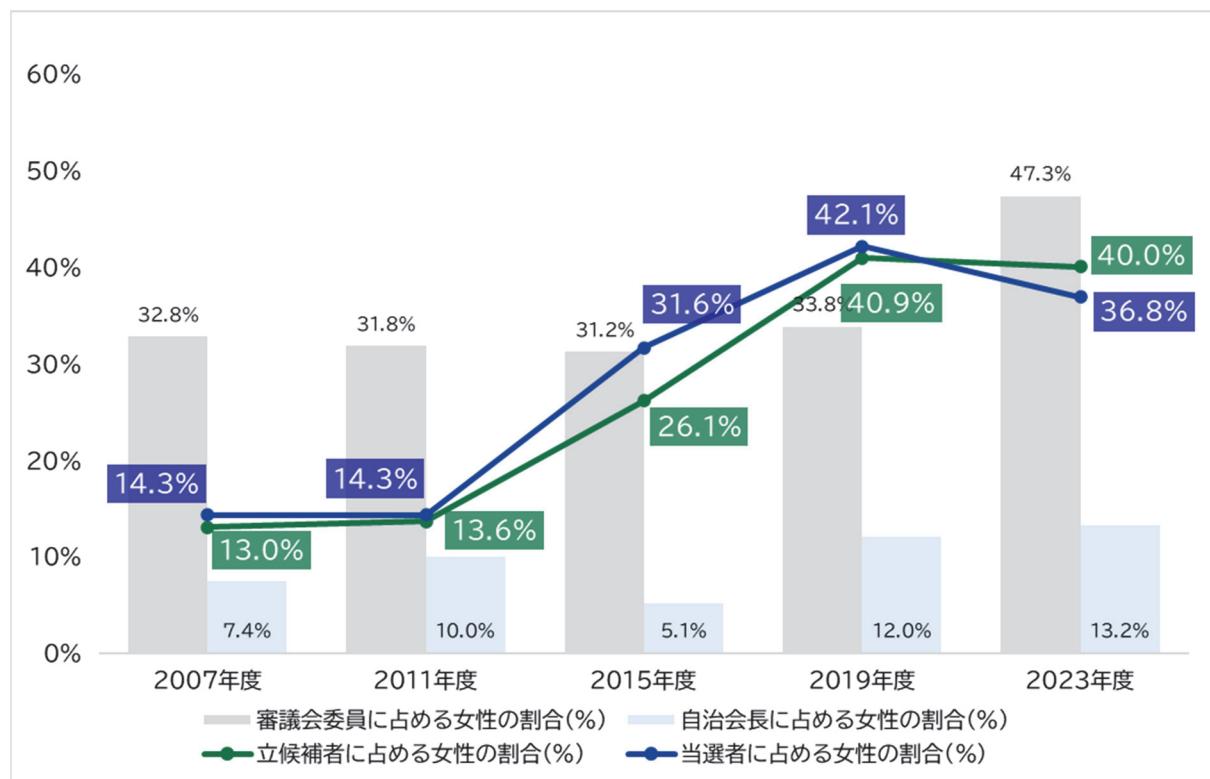


### 今後も継続的かつ積極的に実施の方針

- 一市民が市長と直接話す機会はほとんどないため、参加者からこの講座は特に貴重な機会であり意義深いと捉えられ、ずっと続けてほしいという要望多数。
- 市長・行政としては、市政への理解や参画意識を高める方法としても大変重要な取組のため、継続的かつ積極的に対応している。現在 27 年間継続実施。

STEP 04  
今後  
この先の展望は？

## 女性の地域参画・政治参画の推移



出所：アンケート回答、内閣府ウェブサイト「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(都道府県・政令指定都市編、市区町村編)」(各年度)、選挙報道情報を参考し本調査研究の調査チーム作成

### 《大府市基本情報》

総人口：92,982人（2024年3月31日）

男性：47,299人

女性：45,683人

世帯数：40,681世帯

地 勢：総面積約33.66km<sup>2</sup>、愛知県の西部、名古屋市の南東部に隣接して位置する。

出所：大府市ウェブサイト



### 参考情報

- ・大府市議会：<https://www.city.obu.aichi.jp/gikai/index.html>
- ・大府市石ヶ瀬会館(ミューいしがせ)：<https://www.medias.ne.jp/~misigase/>
- ・ミューいしがせ レディースカレッジ紹介ページ：<https://www.medias.ne.jp/~misigase/ladys.html>
- ・大府市の男女共同参画の取組が紹介されたウェブサイト記事の紹介：  
<https://www.city.obu.aichi.jp/shisei/shisaku/danjyokyodo/1029482.html>